

4月号増刊 定価 780円

2011春号

増刊

旅

TABI-SERAI

サライ

# サライ



SUPER PREMIUM MAGAZINE SERAI

「目利きが誘う、上質な大人の旅」

◎特集

旅の達人が薦める

特別エッセイ  
伊集院静  
夢の中のホテル

# 二泊三日 変化を楽しむ宿選び



柏井 壽 VS 中井 美穂  
「**昨今宿事情**」を語り明かす

鴻上尚史

「和」の伝統を守る

レトロ東京にひたる



山本益博  
京都  
食を楽しむ宿「軒」

厳選 春爛漫の宿 **18** 軒  
買える「旅の快適道具」

食通が選ぶ  
わざわざ行きたい地方のレストラン 8

青森 鹿角島 新幹線開通記念企画  
名旅館発の絶品お取り寄せ





◆和室での夕食は、料理人が部屋に出向いて、調理を行うことも。今回は、「主人の鳥居宏行さん（右）に、腕をふるっていただいた。

◆琉球量を敷き詰めた広い和室は、清潔感が溢れ清々しい。掘りこたつ風の囲炉裏型カウンターで、夕食「氣生根鍋」をいただく。



◆山本さんが「面白い」と声を上げた、夕食の牡丹（豚）かつて貴船は御所の御旗場で、天然の牡丹肉は高級品として珍重されていた。この肉を使った「氣生根鍋」は絶品だ。

き抜けの廊下から階段を登って、ロフトに書斎兼エステルーム。外に露天風呂といった贅沢な造りだ。さらに、和室には料理ができる囲炉裏を。洋室には心温まる暖炉を設け、のんびりとくつろげる空間を演出。カーテンのない広い窓や天窓からは、神々しく光が差し込み、居心地の良さは格別だ。「貴船は水の神様。けがれを洗い流し、新たに気力が湧いてくる。そんなパワーを感じられるような部屋にしたかったんです」と、ご主人の鳥居宏行さんはいふ。



◆洋室の暖炉の前で読書。まるで別荘にいるような感覚だ。「こういう部屋にしていると、外に出たくなくなっちゃうよね」と、山本さん。

◆洋室のリビング。世界的に有名なデザイナー、ジョージ・ナカシマの家具や、イサム・ノグチの照明がさりげなく置かれている。



◆天窓を持つ、ロフトの書斎兼エステルーム。手前の渡り廊下を通り外に出ると露天風呂に、階段を降りると内風呂につながる。



## 貴船 右源太

和洋2室の贅沢なもてなし

京の奥座敷と呼ばれる洛北・鞍馬貴船。鴨川の水源である清流、貴船川に恵まれ、古来、水の神が宿る地として崇敬を集めてきた。川沿いには料理屋や旅館が軒を連ね、川の上に座敷を設け料理を食べる「川床」が、貴船の夏の風物詩となっている。

そんな貴船で、最近、異彩を放っているのが、川床料理の老舗旅館、右源太である。昨年、海外メディアに取り上げられ、世界中から客が殺到。山本さんも、「料理の完成度が高い」と太鼓判を押す。そこで2泊目は右源太に宿泊。新時代の京リゾートを体験した。

### 贅を尽くした快適な空間

右源太の敷居をまたいで、まずは最初に驚くのが、客室の数だ。全室たったの2部屋。「もっとサービスの質を向上させたい」との、ご主人の熱い想いで、7年前に大改装。各部屋にロフトを設けるなど、5年ほどかけて、別荘感覚の旅館を実現させた。2室とも、1階にはリビングとベッドルーム、内風呂を装備。吹